

開講期	2026年度前期、2026年度後期			単位数	4.0単位
科目[授業]名	8516 保健体育科教育法1			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	クラス指定			定員	
履修可能学年	3年/4年	重複履修	×	全学開講	×
曜日時限	木曜5限				
教室	メインアリーナA、B201教室、メインアリーナB				
代表教員	制野 俊弘				
担当教員	制野 俊弘				
テーマと到達目標	本講義では、学習指導要領の目標・内容と全体構造、個別の学習内容に関する指導上の留意点、学習評価の考え方などを理解させる。生徒の実態を踏まえた教材研究の方法を中心に、適切な指導を行う実践的力量を培うとともに、一単位時間のみならず単元計画や年間計画、さらに三年間を見通した計画が立案できる能力を育てる。				
概要	前期は、学習指導要領における保健体育科の目標・内容等について概説し、個別の学習内容に関する指導上の留意点などを実践例を交えて講義する。後期は、個々に指導案を作成し、模擬授業を行う。また、1年を通して実際に現場での授業を参観し、教材解釈や教材づくり、指導の方策や生徒への対応の仕方、評価の方法等について具体的に学ぶ。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	保健体育はなぜあるのか～保健体育の意義と役割～				対面授業
第2回	保健体育科の「目的」「内容」の変遷				対面授業
第3回	保健体育科の「学習(指導)方法」の変遷				対面授業
第4回	学習指導要領の全体構造				対面授業
第5回	学習指導要領における保健体育科の「目的」				対面授業
第6回	学習指導要領における保健体育科の「内容」				対面授業
第7回	保健体育科における「評価」のあり方～指導と評価の一体化～				対面授業
第8回	保健体育科における「学習内容」「教材」「教具」の区別と連関について				対面授業
第9回	保健体育の授業における「教材解釈」と「教材づくり」の考え方				対面授業
第10回	保健体育の授業における「よい授業」の条件①～マネジメントとインストラクション～				対面授業
第11回	保健体育の授業における「よい授業」の条件②～モニタリングとインタラクション～				対面授業
第12回	教材研究法の理論と実際				対面授業
第13回	教材研究法①～器械運動の指導～				対面授業
第14回	教材研究法②～水泳の指導～				対面授業
第15回	教材研究法③～バレーボールの指導～				対面授業
第16回	教材研究法④～陸上競技の指導～				対面授業
第17回	体育の指導案の意義とその作成法				対面授業
第18回	体育の学習指導案づくりと模擬授業①～陸上競技～				対面授業
第19回	体育の学習指導案づくりと模擬授業②～器械運動(マット・跳び箱)～				対面授業
第20回	体育の学習指導案づくりと模擬授業③～「ネット型」球技～				対面授業
第21回	体育の学習指導案づくりと模擬授業④～「ゴール型」球技～				対面授業
第22回	体育の学習指導案づくりと模擬授業⑤～武道(柔道)～				対面授業
第23回	体育の学習指導案づくりと模擬授業⑥～ダンス～				対面授業
第24回	体育の学習指導案づくりと模擬授業⑦～体づくり運動～				対面授業
第25回	体育の学習指導案づくりと模擬授業⑧～体育理論～				対面授業

第26回	保健の指導案の意義とその作成法		対面授業
第27回	保健の学習指導案づくりと模擬授業①～心身の機能の発達と心の問題～		対面授業
第28回	保健の学習指導案づくりと模擬授業②～健康な生活と病気の予防～		対面授業
第29回	教科外体育の指導～体育的行事・部活動～		対面授業
第30回	保健体育科の今後の課題		対面授業
成績評価の基準	授業におけるレポート30%、指導案づくり・模擬授業70%で評価する。		
履修にあたっての留意事項	<p>以下の点に十分に留意すること。</p> <p>①教育者としての資質・教養・自覚を身に付けたいと本気で考えている者、その熱意が持続可能な者、課題に対して継続的に取り組める者を対象に授業を組み立てる。</p> <p>②資格課程の授業であり、また授業内容が系統的・連続的であることから、特段の事情がない限り欠席は認めない。「必須の学習内容を履修していない」と判断した場合は、単位取得が難しくなることをあらかじめ念頭において受講すること。</p> <p>また、以下の者を重視して評価する。</p> <p>③三週間の教育実習に耐える者、小・中・高校のボランティアに積極的な関われる者、他に子どもと関わる活動に積極的に参加できる者</p> <p>④教員採用試験を目指すとともに、その対策に本気で取り組む者</p> <p>これら①～④の点について、十分に理解して受講すること。</p>		
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細			
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件			

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	全国で行われる各種研究会に参加するための費用がかかります。8月大阪・岸和田(2泊3日)、11月滋賀・中学校公開研究会(1泊2日)、12月京都(有志・2泊3日)です。あらかじめ準備をしてください。		
教科書	文部科学省「中学校学習指導要領解説 保健体育科編」東山書房 2018年 文部科学省「高等学校学習指導要領解説 保健体育科編・体育編」東山書房 2019年 学校体育研究同志会編「新版・スポーツの主人公を育てる体育・保健の授業づくり」創文企画 2024年 制野俊弘「命と向きあう教室」ポプラ社 2016年 制野俊弘「子どもの言葉が教えてくれる」新日本出版 2021年	教科書(ISBN)	
参考文献	小山吉明「体育で学校を変えたい～中学校保健体育授業の創造～」創文企画 神谷拓編「対話でつくる教科外の体育」学事出版 佐伯胖・佐久間亜紀編「現代の教師論」ミネルヴァ書 その他、適宜参考文献を紹介します(一部購入)。	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--